## 目標達成計画

作成日 : 平成22年8月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】							
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>		
1		自動通報装置に登録して下さっている人や地域で協力していただける方と共に避難訓練が出来る。		1回目は9月中に計画を立て実施する。	1 か月			
2	33	こ本人 やこ多族が里皮化、終本期に凹げたが一    1. での古針を理解して頂き - 廿右が中立2	ホームの指針を理解して頂き、ご利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人やご家族の希望を伺う。	・運営推進会議において「重度化・終末期に向けたホームの指針」の勉強会を行う。(10月の予定) ・医療機関との連携において往診体制作りを行う。	3 か月			
3		ご利用者の思いや意向の情報を共有化すること が出来る。		・フェイスシート及びアセスメントシートを作成する。(誰が見ても分かりやすいもの。共有が出来るもの)	3 か月			
4	4	運営推進会議において、地域の色々な立場の方に参加して頂〈ことが出来る。	ムのことや認知症のこと、を知って頂き、ネット	業者の方(八百屋、魚屋など)、派出所、消防の方、又地域ケアネットワーク推進協議会への会議参加への声かけを行う。	3 か月			
5					か月			

事業所名 グループホーム陽だまり

F成日: 平成 22年8月22日

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

	ービス評価の実施と活かし方についての振			
	実施段階	取り組んだ内容 (該当するものすべてに印)		
		運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った		
1	サービス評価の事前準備	利用者へサービス評価について説明した		
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした		
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した		
		その他( )		
2	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した		
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った		
		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った		
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った		
		その他( )		
3	外部評価(訪問調査当日)	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった		
		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた		
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た		
		その他( )		
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った		
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った		
		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った		
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った		
		その他( )		
5	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した		
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)		
		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)		
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)		
		その他(		